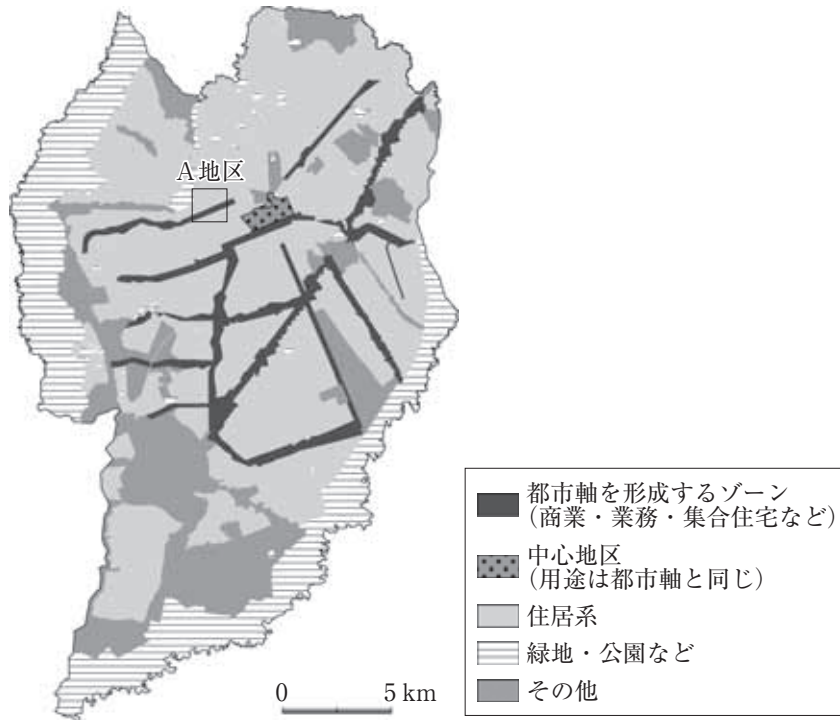
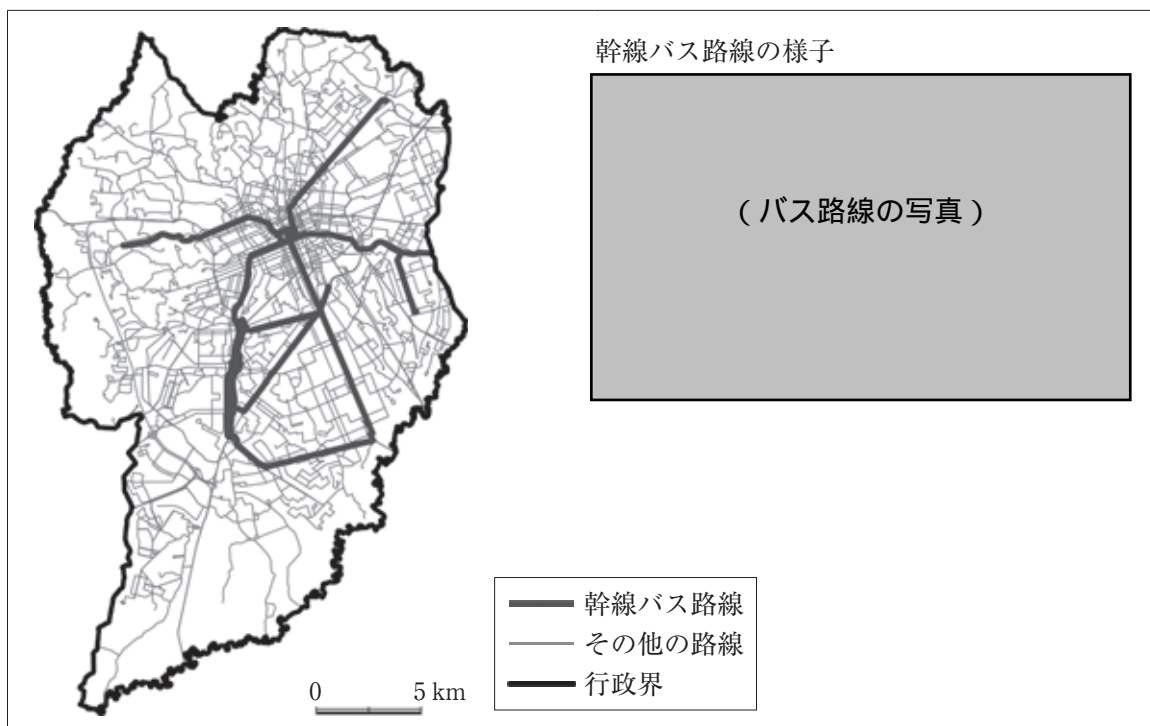


問 3 ケイさんは、ブラジルのクリチバ市における都市計画に興味を持ち、資料9～資料12を得た。これらの資料から読み取った文のうち、下線部の内容が不適切なものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 11。

資料9 クリチバ市の土地利用構想図



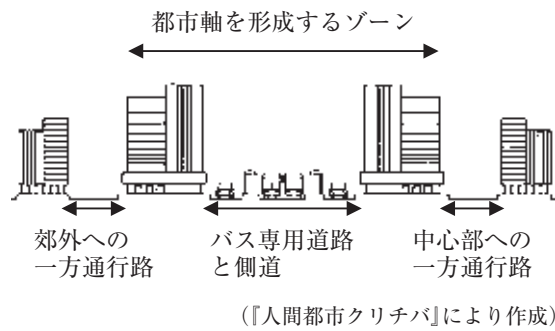
資料10 クリチバ市のバス路線図



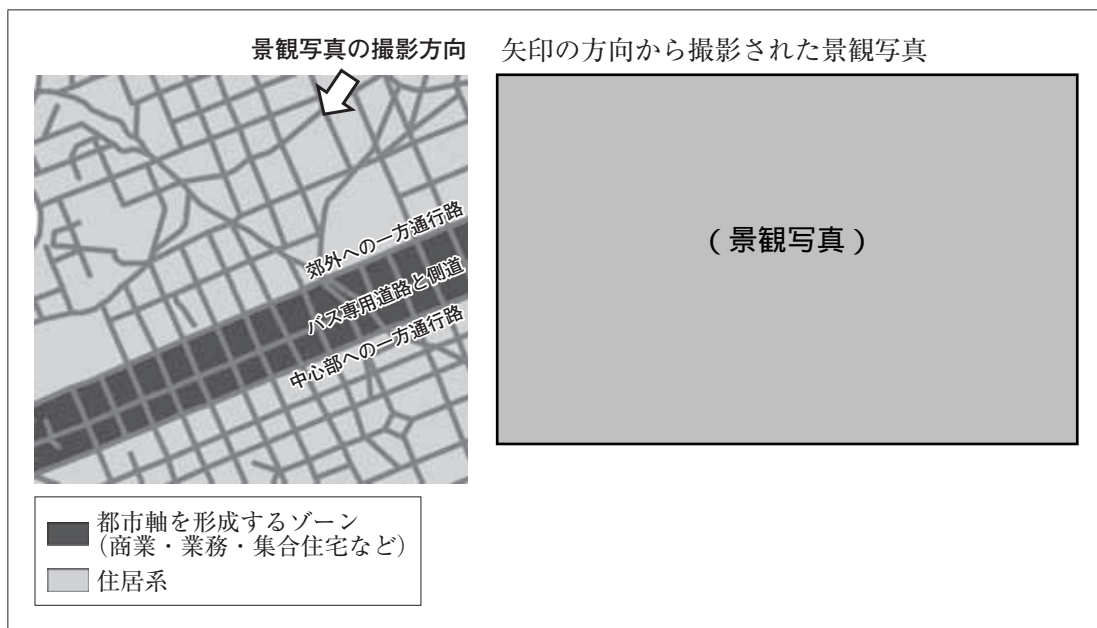
(www.ippuc.org.br などにより作成)



資料11 都市軸を形成するゾーンにおける道路交通の考え方



資料12 資料9におけるA地区の拡大図と景観写真



(<http://eco.chunichi.co.jp/column/column04/2009/07/post-3.html> などにより作成)

- ① 資料9と資料10から、幹線バス路線はおおむね「都市軸を形成するゾーン」に沿って引かれていることが分かり、バス交通が都市計画の骨格をなしている。
- ② 資料10と資料11から、「都市軸を形成するゾーン」では、バス専用道路が見られることが分かり、運行の定時性や乗客の利便性への配慮がみられる。
- ③ 資料11と資料12から、「都市軸を形成するゾーン」をはさんで異なる方向に向かう2本の一方通行路があることが分かり、「都市軸を形成するゾーン」での交通渋滞を回避している。
- ④ 資料12から、住居系に指定されている地域に高層建築物が広がっていることが分かり、多くの住民が高層のマンションに居住している。

問 4 ケイさんは、様々な国境があることに興味を持ち、資料13～資料16を得た。これらの資料を基にケイさんと先生との会話文中の空欄 **ア** ～ **ウ** に当てはまる記号の組合せとして最も適切なものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **12**。

資料13



資料14

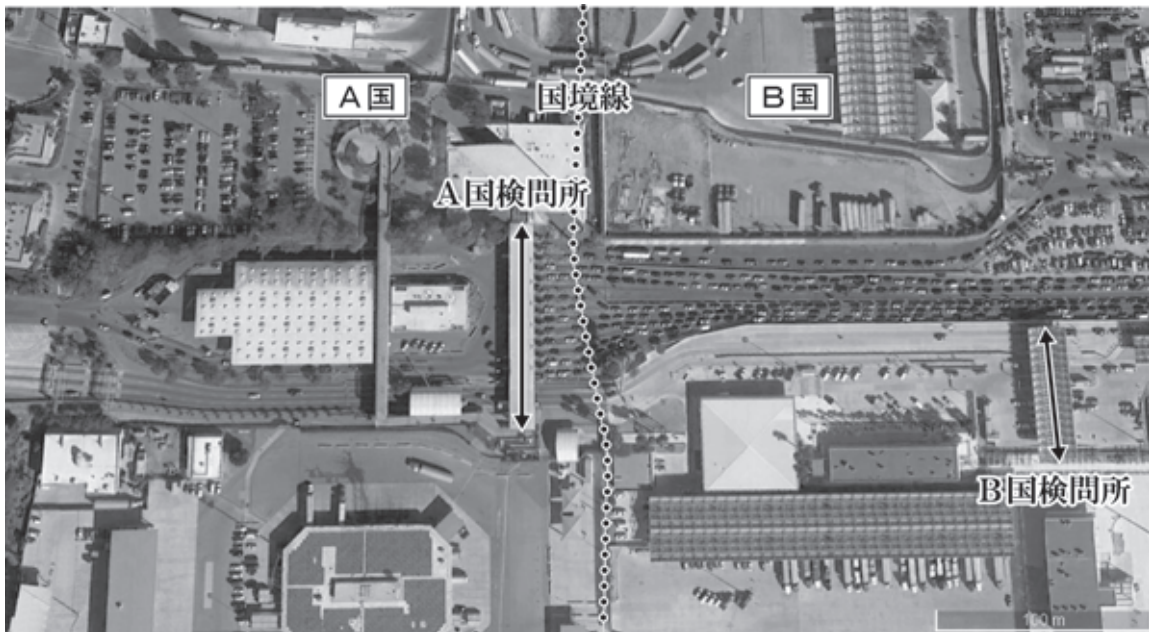


(Google Earth などにより作成)

資料15



資料16



(Google Earth などにより作成)

B

先生：国と国の関係性の違いから、国境の様子も地域によって異なります。例えば資料13と資料14は、資料15の地図中P、Qのうち、それぞれどちらの国境でしょうか。

ケイ：資料13は検問所で出入国の管理をしていますが、資料14ではそのような様子は見られません。ということは、資料13は **ア** で、資料14は **イ** ですね。

先生：その通りです。資料14を含むいくつかの国々では、協定を結んで、出入国管理を廃止しています。次に資料16を見てください。これは、アメリカ合衆国とメキシコとの国境の様子です。国境警備の厳重さは、当該国間の経済状況によっても影響を受けます。資料16はA国とB国のどちらがアメリカ合衆国か分かりますか。

ケイ：資料16では、A国からB国へ向かう車の列は少ないのに対して、A国に向かう車は大渋滞していることにヒントがありそうですね。両国の経済格差等を考えると、アメリカ合衆国は **ウ** 国でしょうか。

先生：その通りです。この国境では、検問の順番待ちで2時間以上待つこともあります。私が訪れたときは、順番待ちの自動車にお土産や食料品を売る露店も出ていましたよ。

	ア	イ	ウ
①	P	Q	A
②	P	Q	B
③	Q	P	A
④	Q	P	B

4 現代世界の諸地域に関して、問1～問4に答えよ。

問1 ソウさんたちは、インド洋周辺諸国について興味を持ち、資料1を得た。資料2は、資料1のインド洋周辺諸国について、ソウさんたちが調べたことを地図やグラフにして説明したカードである。地図やグラフから読み取ったカード中の下線部の内容が不適切なものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 13。

資料1 インド洋とインド洋周辺諸国



注) インド洋周辺諸国は、資料1に で示したインド洋に面する23か国をさす。

資料2

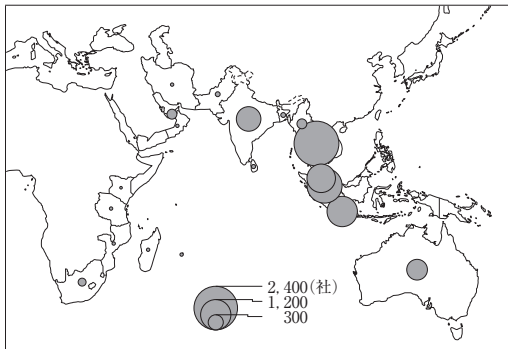
① ソウさん



- ・この地図は、環インド洋連合と呼ばれる組織の加盟国(2017年)を示しています。
- ・インド洋周辺諸国のうち、環インド洋連合に加盟していない国があることが分かります。

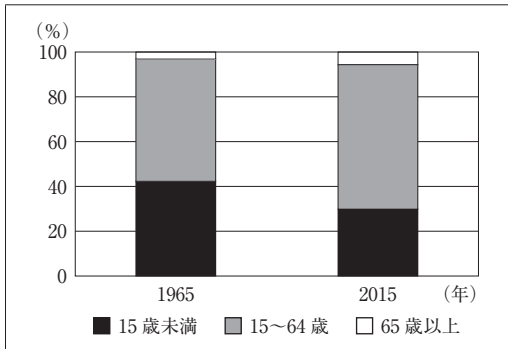
B

② アヤさん



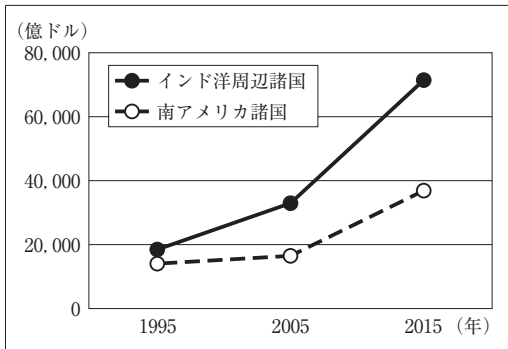
- ・この地図は、インド洋周辺諸国における日系企業の現地法人数(2016年)を示しています。
- ・日系企業の現地法人数は、インド洋の西部沿岸諸国よりも東部沿岸諸国に多い傾向があることが分かります。

③ ナオキさん



- ・このグラフは、インド洋周辺諸国の1965年と2015年の年齢層別の人口割合を示しています。
- ・この地域では、1965年よりも2015年の方が15～64歳の人口割合が低いことが分かります。

④ ユウキさん



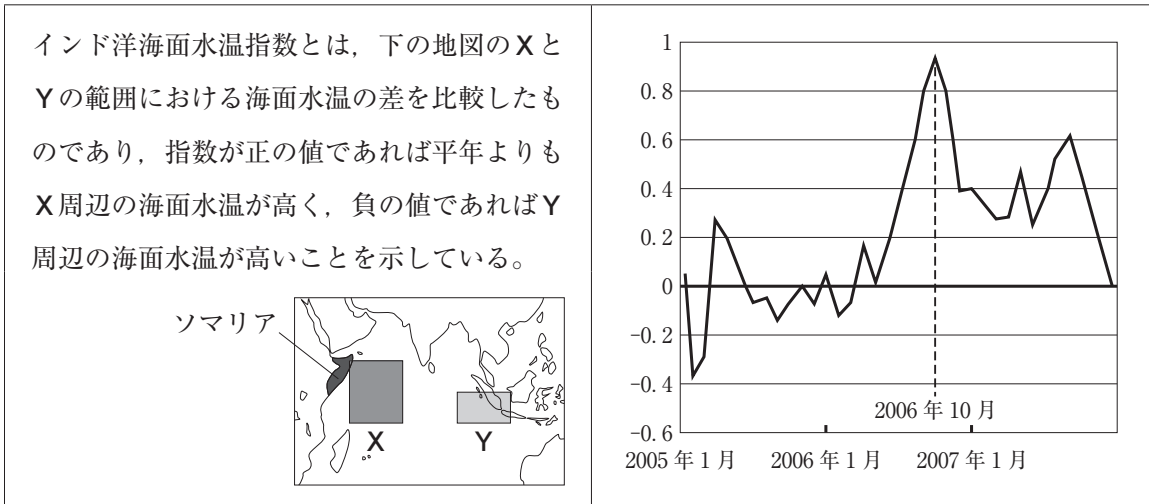
- ・このグラフは、インド洋周辺諸国と南アメリカ諸国における国内総生産(GDP)の合計の推移を示しています。
- ・インド洋周辺諸国と、南アメリカ諸国におけるGDPの合計の差は拡大していることが分かります。

(「World Population Prospects」などにより作成)

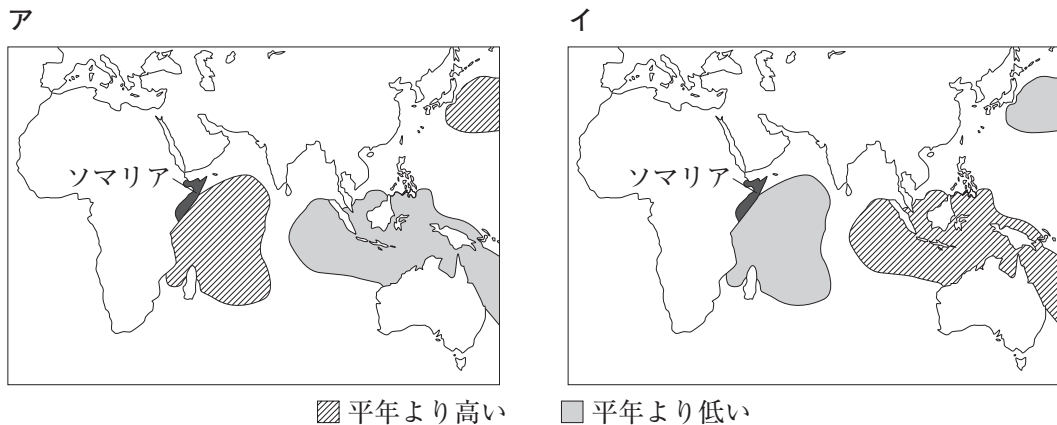
問 2 ソウさんは、インド洋周辺諸国で発生する異常気象に興味を持ち、資料3～資料5を得た。これらの資料に関するソウさんと先生の会話文中の空欄 **A** , **B** に当てはまる記号の組合せとして最も適切なものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。

解答番号は **14** 。

資料3 インド洋海面水温指数



資料4 インド洋の海面水温の模式図



資料5

ウ 洪水



エ 干ばつ



(http://www.jamstec.go.jp/frcgc/research/d1/iod/iod_home.html などにより作成)



先生：資料3のインド洋西部と東部における海面水温の違いは、この地域の異常気象の要因の一つと考えられています。さて、資料4のア、イは、インド洋西部と東部における海面水温の変化を模式的に示したものです。資料3によると、2006年10月ごろのインド洋の海面水温は資料4のア、イのうち、どちらの状態にあったのでしょうか。

ソウ： だと思います。

先生：そうですね。海面水温が高い場合には上昇気流が発生しやすく、降水量が多くなり、逆に海面水温が低い場合には上昇気流が発生しにくく、降水量が少なくなる傾向があります。では、2006年10月ごろにソマリアで発生した自然災害は、資料5のウ、エのうち主にどちらでしょうか。

ソウ： が発生したと思います。

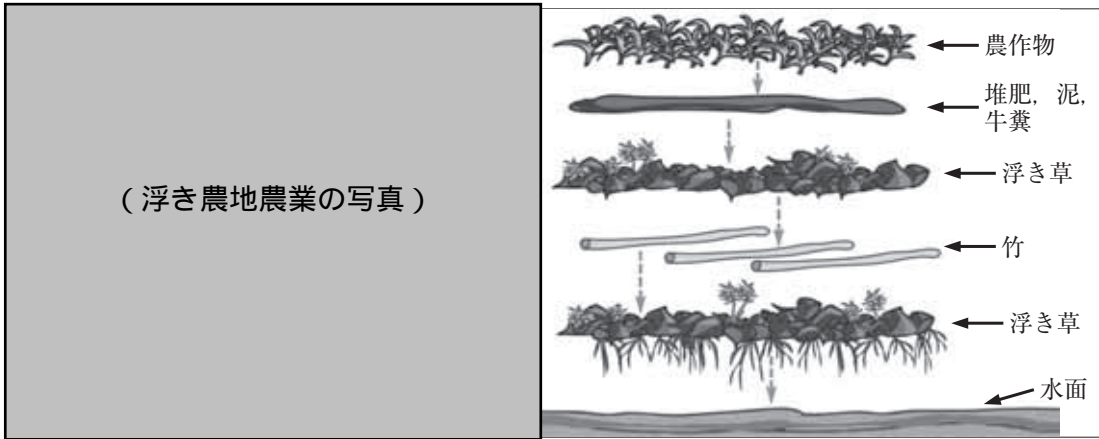
先生：そのとおりです。他の海域の事例もふくめ、さらに調べてみましょう。

	A	B
①	ア	ウ
②	ア	エ
③	イ	ウ
④	イ	エ

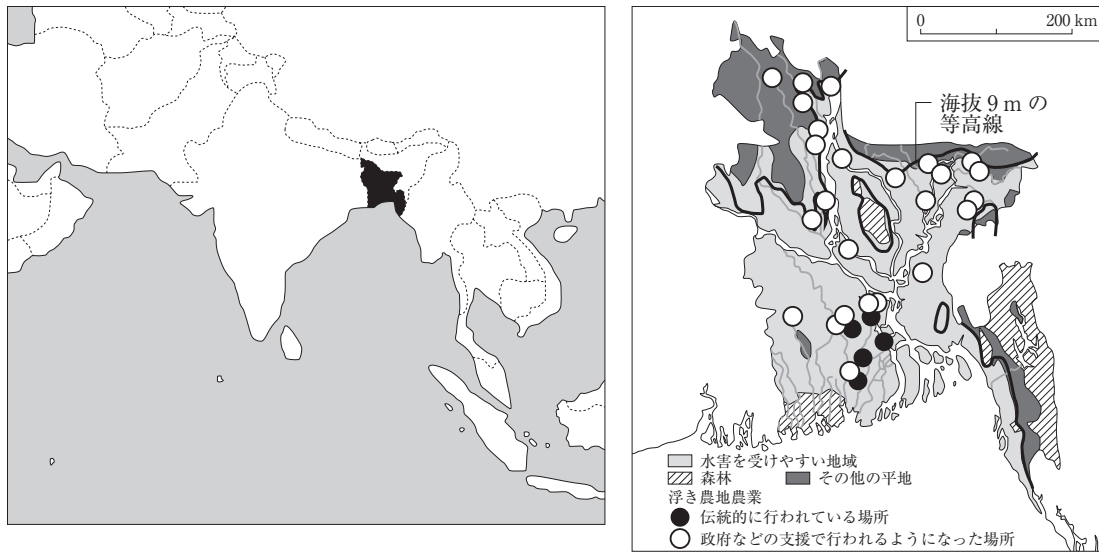
問 3 ソウさんたちは、バングラデシュで行われている伝統的な農業に興味を持ち、資料 6～資料 8 を得た。これらの資料について、ソウさんたちの会話文中の空欄 **A** , **B** に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。

解答番号は **15** 。

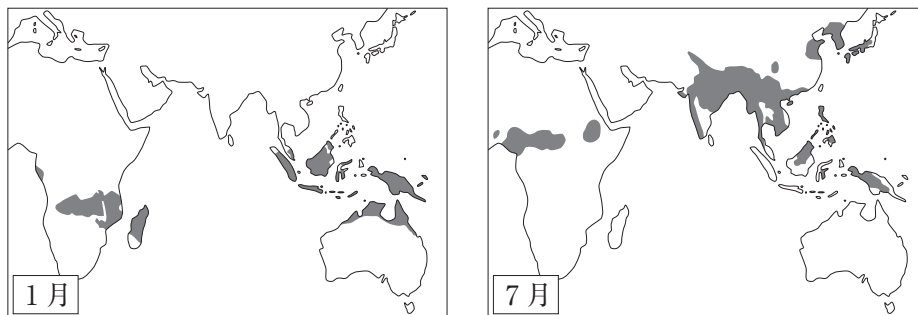
資料 6 浮き農地農業の様子



資料 7 バングラデシュの位置と浮き農地農業が行われている主な場所



資料 8 1月と7月の降水量が200 mm 以上の地域



(「Floating Garden Agricultural Practices in Bangladesh」などにより作成)

ソ ウ：バングラデシュの一部の地域では、資料6のように水に浮かぶ植物の上で野菜などの農作物を栽培する、浮き農地農業が伝統的に行われていて、2015年には世界農業遺産に認定されているよ。

ユウキ：なぜこのような農業が行われているのかな。

ア ヤ：資料7をみると、伝統的に浮き農地農業が行われている場所は標高が低いことが分かるね。

ユウキ：資料7と資料8をみると、バングラデシュは標高が低い土地が多く、雨季である **A** ごろには多くの農地が浸水してしまうから、水に浮かぶ植物の上で農作物を栽培するという工夫をしているんだね。

ソ ウ：資料7をみると、政府などの支援によって浮き農地農業が拡大しているね。

ア ヤ：バングラデシュは、慢性的な食料不足や貧困といった問題を抱えているみたいだよ。

ナオキ：浮き農地農業がそれらの問題を改善するための対策の一つとして考えられているのかな。

ソ ウ：そうか。資料6をみると、浮き農地農業では **B** が期待されることから政府などが支援をしているんだね。世界各地の伝統的な農業にも注目が集まっている例があるんだね。

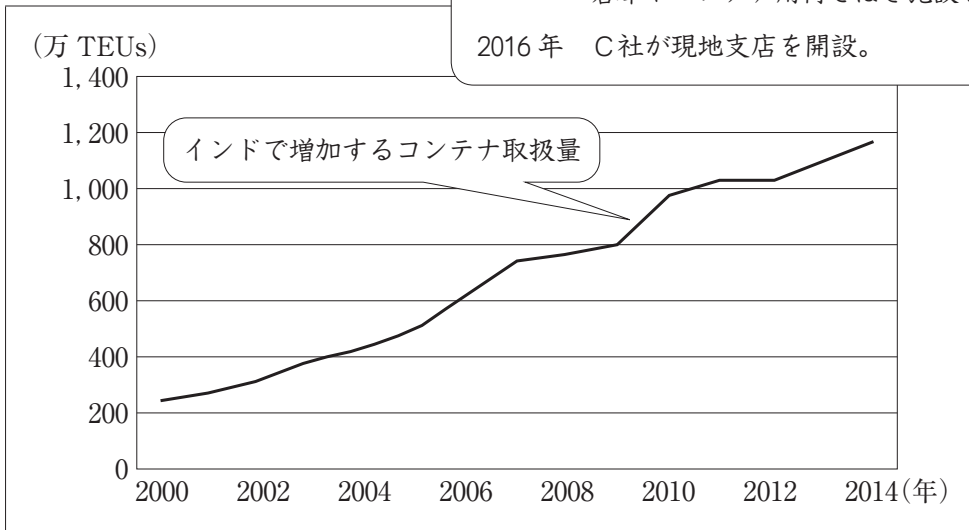
	A	B
①	1月	大型機械の導入による農作物の生産量増加
②	1月	自然環境に適応した小規模農家の所得向上
③	7月	大型機械の導入による農作物の生産量増加
④	7月	自然環境に適応した小規模農家の所得向上

問 4 ソウさんは、インド洋周辺諸国に日本の物流企業が進出していることについて調べ、資料 9 と資料 10 のポスターにまとめた。資料 9 と資料 10 の **Z** に当てはまる国として最も適切なものを、あとの資料 11 中の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **16**。

資料 9 ポスター(1枚目)

テーマ：なぜ物流企業が **Z** に進出しているのだろう。

考察 1：インドにおけるコンテナ輸送



注) 1 TEUs は国際標準規格のコンテナ 1 個である。



Z に進出する日本の物流企業

2014 年 A社が現地の大手物流企業を買収。

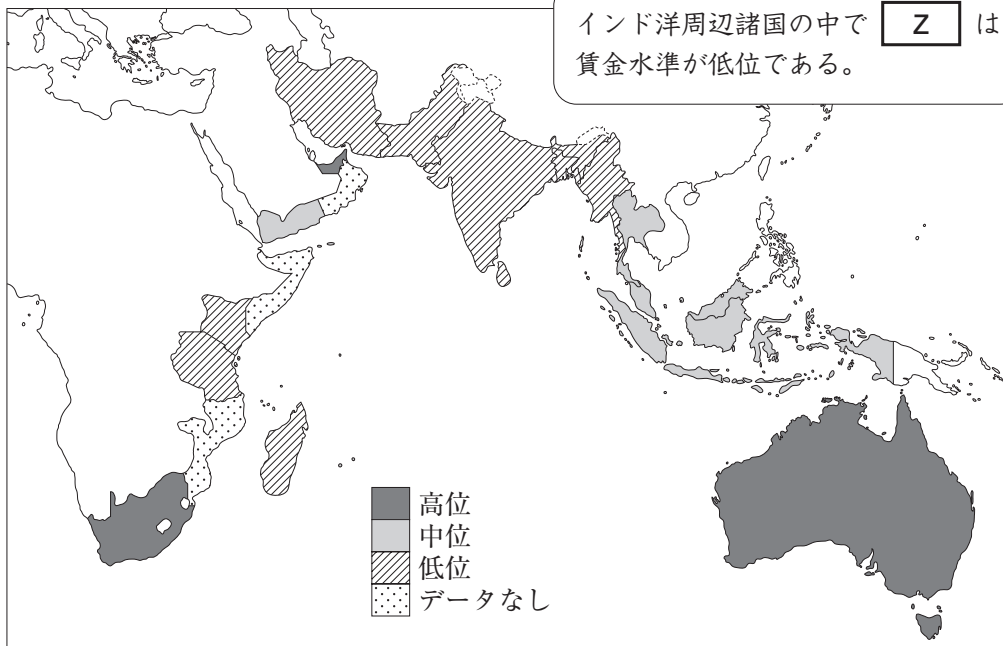
2015 年 B社が首都近郊で約 1 万 m² の敷地に倉庫やコンテナ用荷さばき施設を整備。

2016 年 C社が現地支店を開設。

(「World Development Indicators」などにより作成)

資料10 ポスター(2枚目)

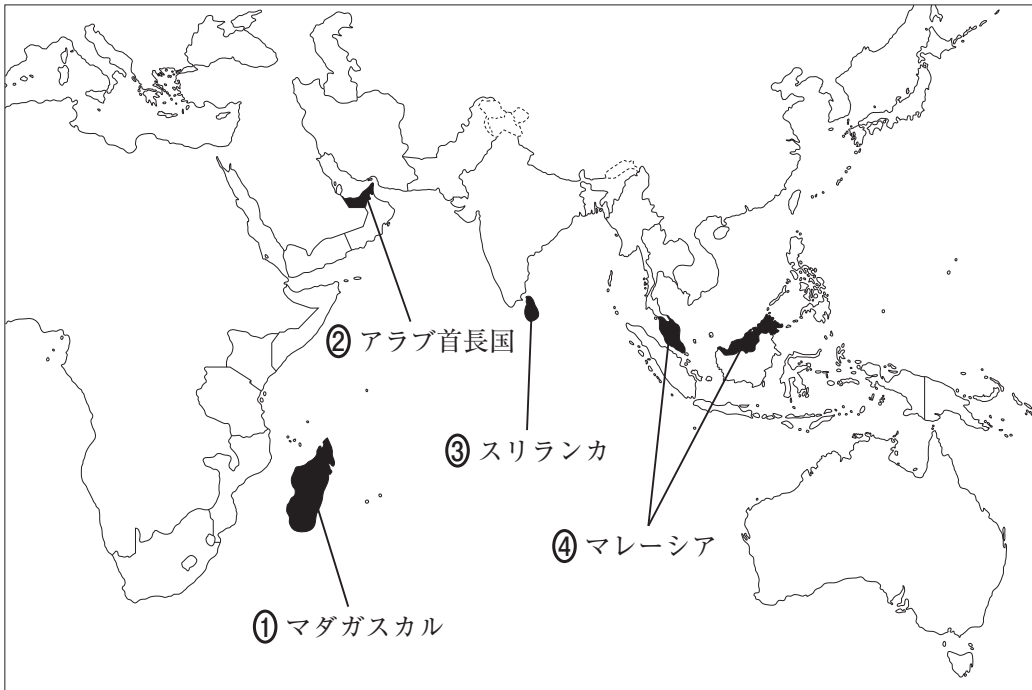
考察2：インド洋周辺諸国の国別の平均月額賃金



まとめ：コンテナ取扱量が増加しているインドと世界各地を結ぶ物流拠点として、大型コンテナ船が入港でき、物流コストに占める人件費の割合を低く抑えることができる **Z** の役割が注目され、日本をはじめ各国の物流企業が進出している。

(JETRO 資料などにより作成)

資料11



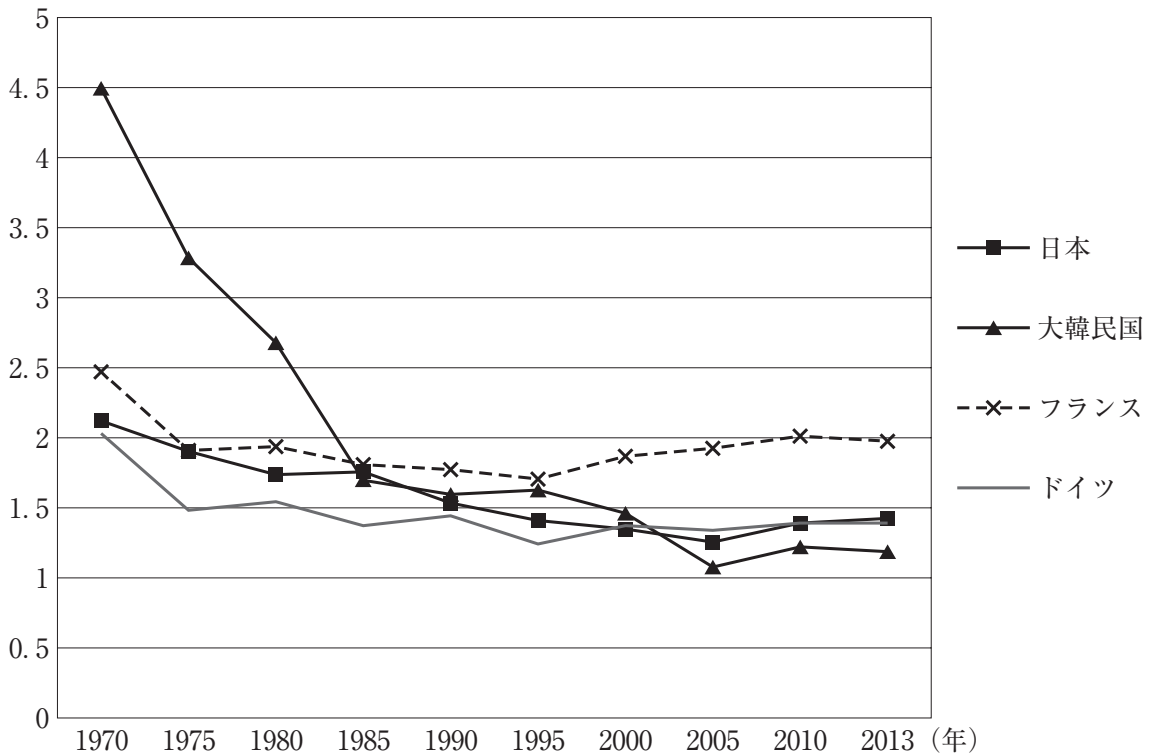
5 現代世界と日本について、問1～問4に答えよ。

問1 ヨシヒコさんは、世界の人口に興味を持ち、資料1～資料3を得た。これらの資料に関して、ヨシヒコさんと先生の会話文中の空欄 X, Y に当てはまる国名と記号の組合せとして最も適切なものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 17。

資料1 4か国の人口推移

	2000年を100とした人口の推移(1970年～2015年)						人口(百万人)
	1970年	1980年	1990年	2000年	2010年	2015年	2015年
日本	82.5	92.3	97.4	100.0	100.9	100.2	127.1
大韓民国	68.0	81.2	93.1	100.0	106.3	108.9	50.3
フランス	85.5	91.1	95.8	100.0	106.1	108.4	64.4
ドイツ	95.7	95.5	96.5	100.0	98.2	98.5	80.7

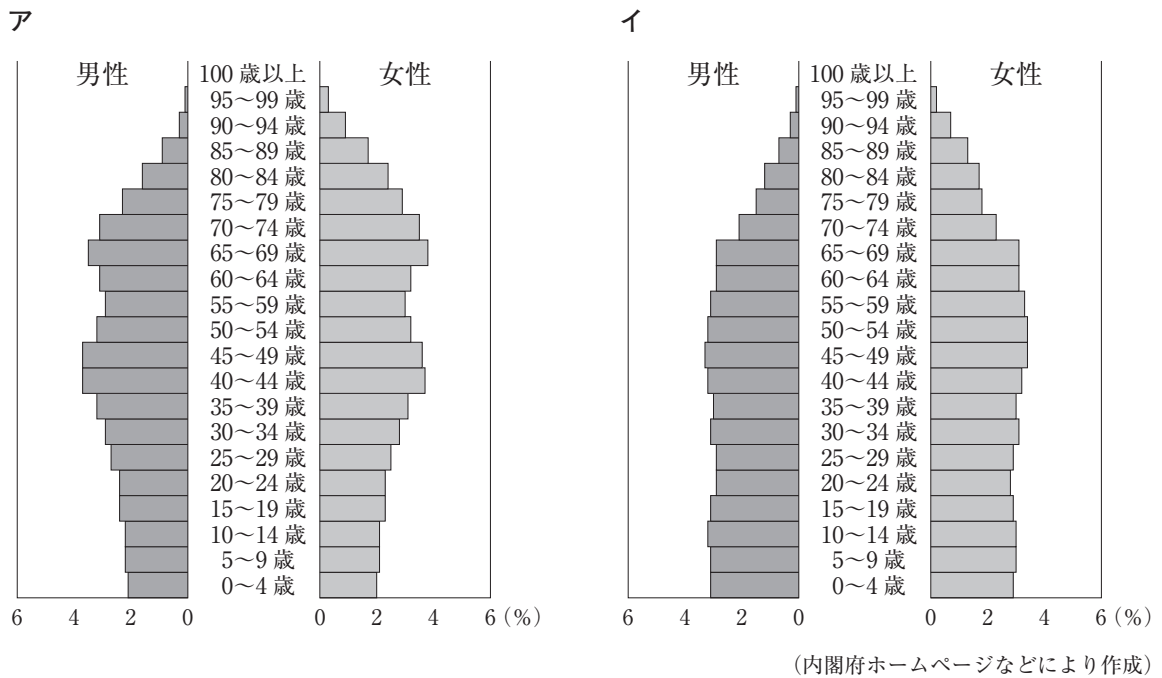
資料2 4か国の合計特殊出生率の推移



注) 合計特殊出生率とは、一人の女性が一生の間に産む子供の数を示す。

(内閣府ホームページなどにより作成)

資料3 フランスと日本のいずれかの人口ピラミッド(2010年)



ヨシヒコ：資料1から、大韓民国とドイツを比べると、**X**は1970年以降を見ると人口変動が少ないようです。これには理由があるのでしょうか。

先生：資料2を見てください。大韓民国とドイツを比べると、**X**はすでに1975年以降、合計特殊出生率が2.0を下回っており、それも要因となって人口変動が少ないと思われます。日本も、現在は合計特殊出生率が1.5を下回っており、2010年から2015年で人口は減少しています。

ヨシヒコ：先進国では、出生率の低下と人口の減少は避けられない問題なのでしょうか。

先生：そんなことはありません。資料2のフランスを例に見てみましょう。フランスは手厚い子育て支援を実施し、1995年以降は出生率の回復に成功しています。資料3でも、フランスの人口ピラミッドからは、日本のものと比べて0～14歳の人口の割合が高いことが読み取れます。

ヨシヒコ：なるほど、資料3中の**Y**がフランスの人口ピラミッドなのですね。

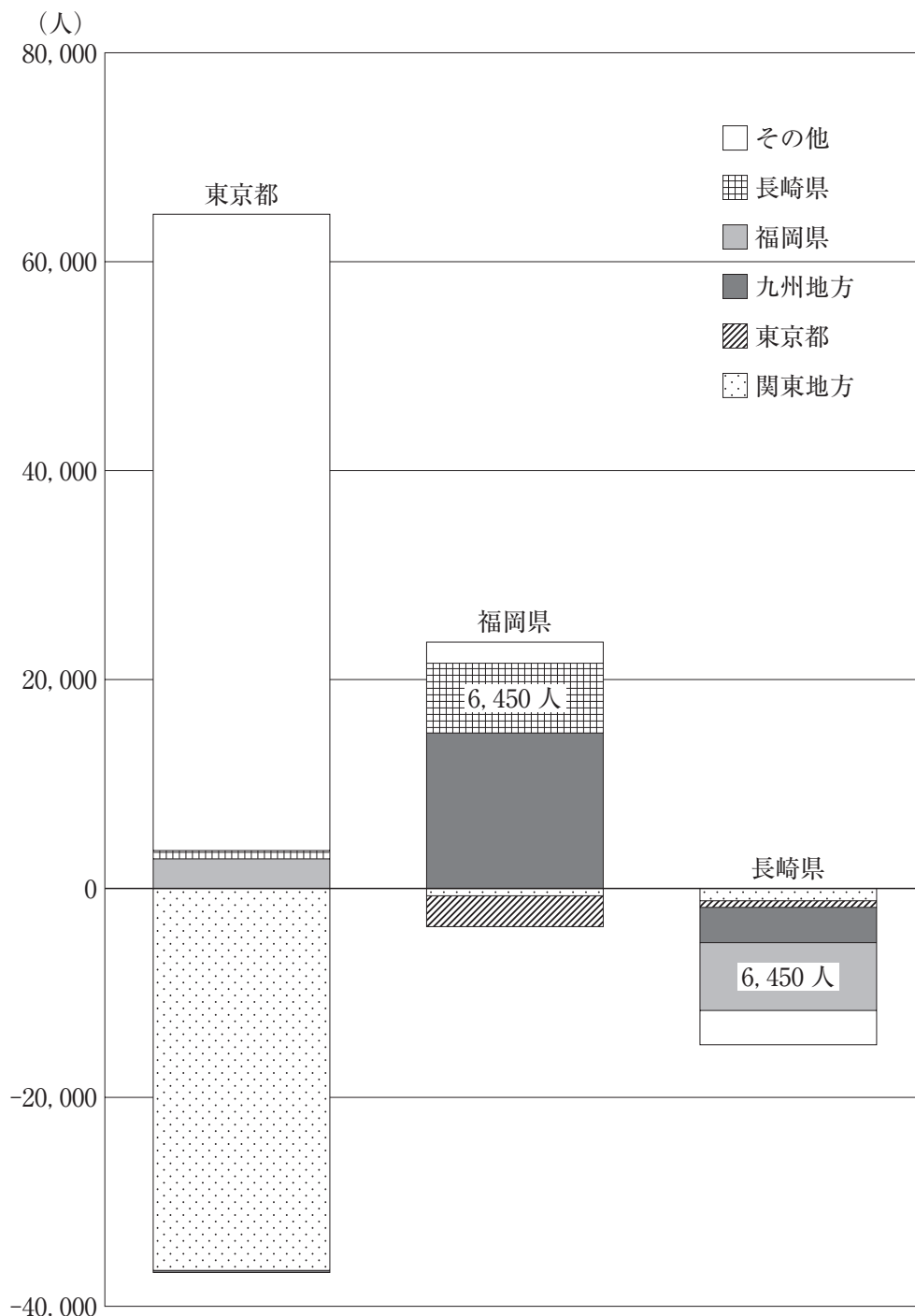
先生：よく読み取れましたね。次回以降の授業では、人口の移動と子育て支援について考えていきましょう。

	X	Y
①	大韓民国	ア
②	大韓民国	イ
③	ドイツ	ア
④	ドイツ	イ



問 2 ヨシヒコさんは、人口流動に興味を持ち、資料 4 を得た。資料 5 は資料 4 を基に作成したモデル図である。資料 5 中の A～C は、それぞれ東京都、福岡県、長崎県のいずれかである。ヨシヒコさんと先生の会話文を参考にして、資料 5 中の A～C と各都県の組合せとして最も適切なものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 18。

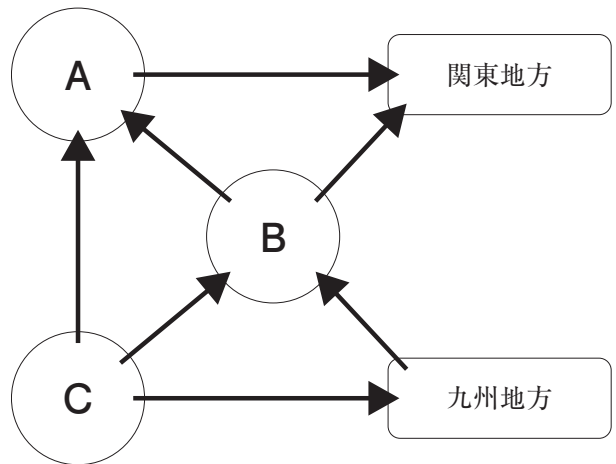
資料 4 東京都、福岡県、長崎県における 2010 年～2015 年の転出入の超過数



注) ・九州地方は、福岡県、長崎県、沖縄県を除いた佐賀県、大分県、熊本県、宮崎県、鹿児島県の合計を指す。
 ・関東地方は、東京都を除く、群馬県、栃木県、茨城県、埼玉県、神奈川県、千葉県合計を指す。

(国勢調査により作成)

資料5 資料4をもとに作成した人口流動のモデル図



注) ・例えば, X→Yの場合, XからYに人口が流れていることを示す。
 ・矢印は大きな傾向を示したものであり, 矢印の太さは移動の人数を表したものではない。

ヨシヒコ：資料4と資料5の見方がよく分かりません。どのように考えたらよいのでしょうか。

先生：そうですね。福岡県を例に考えてみましょう。まず資料4ですが、凡例に示した6つの地域を単位として、福岡県への「転入者数」から、福岡県からの「転出者数」を引いた数値をグラフとして積み上げる形で示しています。

ヨシヒコ：福岡県と長崎県では福岡県への転入者の方が6,450人多いようです。グラフにはどのように表示されますか。

先生：福岡県のグラフに正の値として長崎県を表す の凡例で示され、長崎県のグラフでは、それが負の値として福岡県を表す の凡例で示されます。

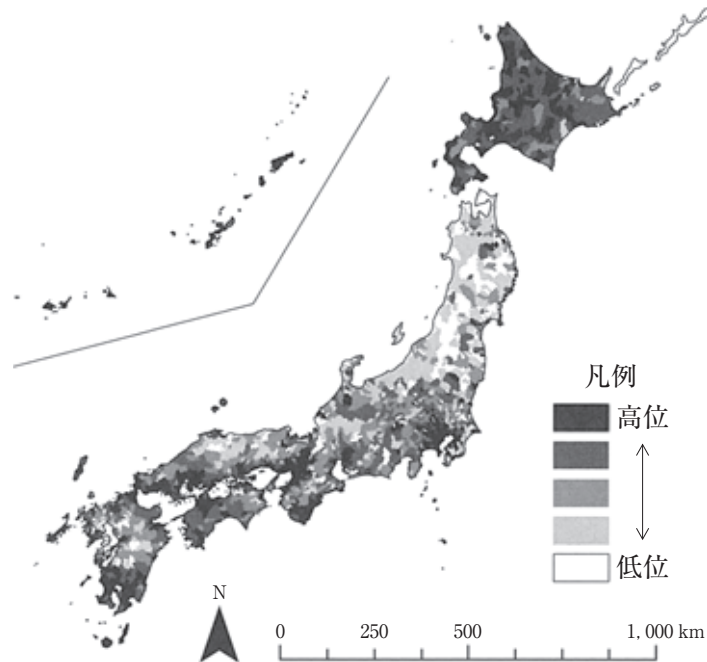
ヨシヒコ：そうすると資料5では、長崎県から福岡県へ矢印が伸びることになります。同様に福岡県と東京都では、福岡県から東京都へ矢印が伸びることになります。A～Cの組合せが分かりますね。

	A	B	C
①	東京都	福岡県	長崎県
②	東京都	長崎県	福岡県
③	福岡県	東京都	長崎県
④	福岡県	長崎県	東京都

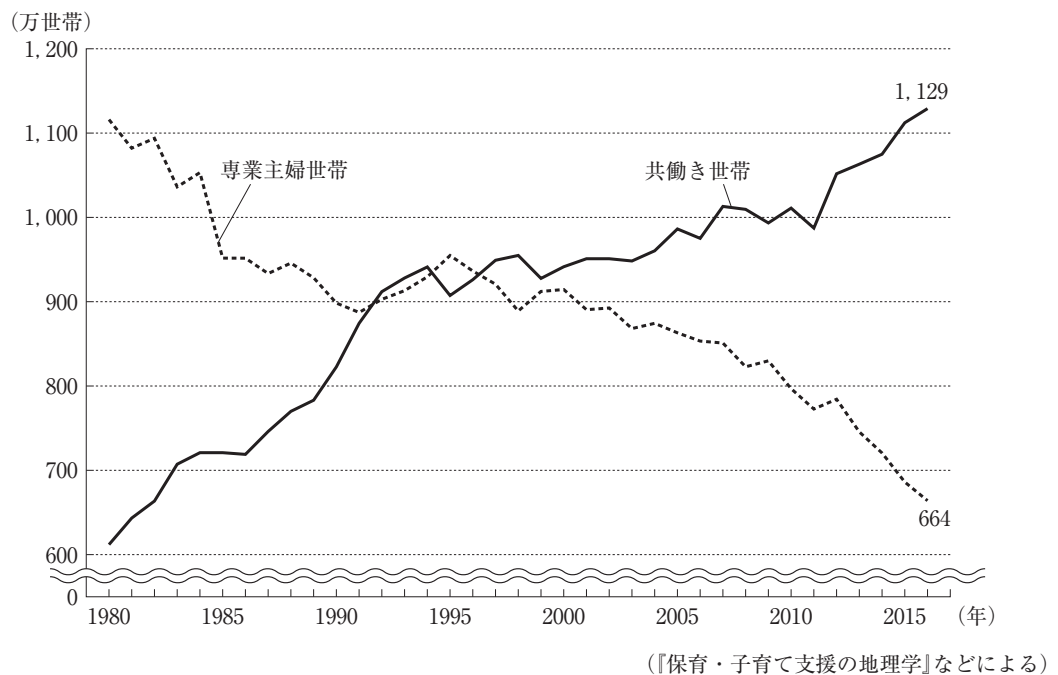
問 3 ヨシヒコさんは、待機児童問題に興味を持ち、資料6～資料9を得た。これらの資料から読み取った内容として最も適切なものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。

解答番号は 19。

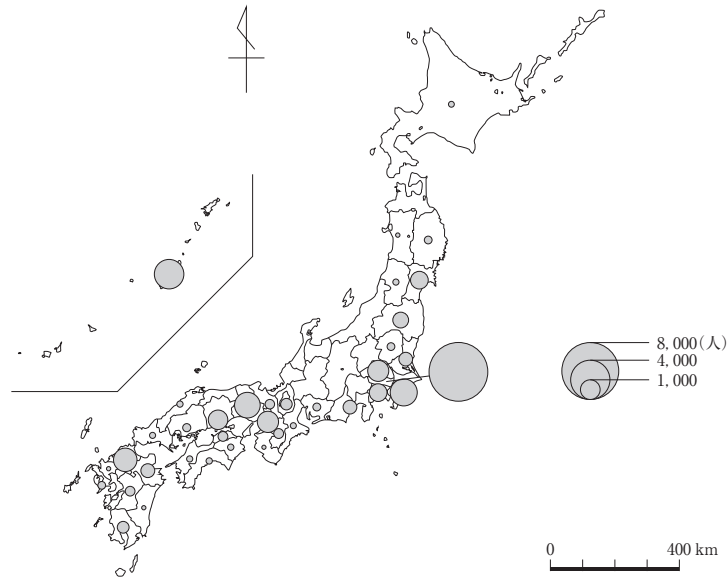
資料6 市町村別にみた6歳未満の親族がいる世帯に占める核家族世帯の割合



資料7 専業主婦世帯と共働き世帯の推移

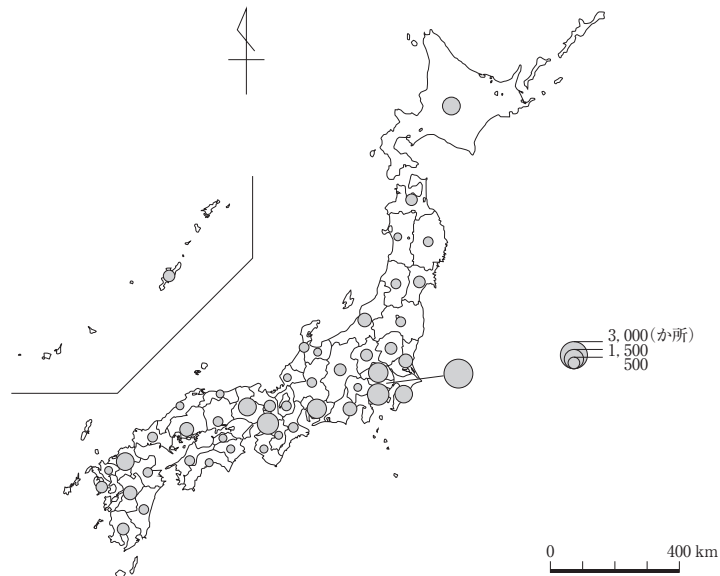


資料8 待機児童数(2017年)



注) 待機児童とは、0～6歳の保育が必要な児童のうち、保育施設(幼稚園や保育所など)が利用できていない児童を指す。

資料9 保育所の施設数(2017年)



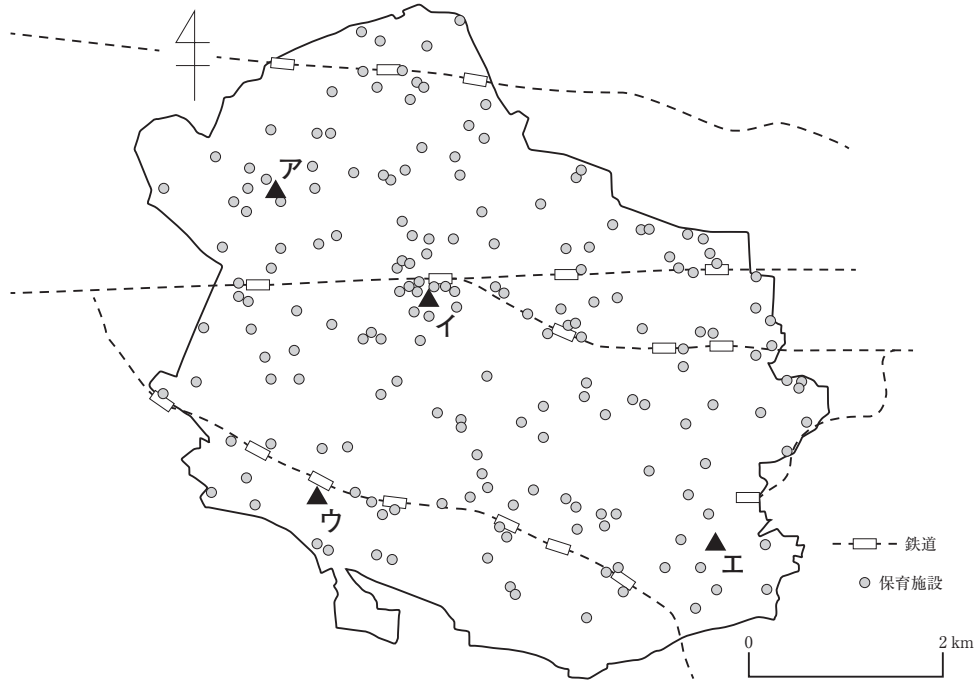
(『保育・子育て支援の地理学』などによる)

- ① 資料6から、6歳未満の親族がいる世帯に占める核家族世帯の割合が高い市町村は、東北地方に多い傾向にある。
- ② 資料7から、1980年から2016年にかけて、共働き世帯数と専業主婦世帯数は、いずれも増加傾向にある。
- ③ 資料8から、中国・四国地方と関東地方を比較すると、関東地方の方が待機児童数が多い。
- ④ 資料8と資料9から、保育所の数が1,500か所を超える全ての都道府県で、待機児童数は1,000人を下回っている。

問 4 ヨシヒコさんたちは、自分たちが生活している東京特別区に待機児童が多いことを知り、資料10～資料12を基に保育施設を区のどこに設置すべきかを検討した。ヨシヒコさんたちの意見は、それぞれ資料10中のア～エのいずれかの地点について説明している。資料10中のウの地点の説明として最も適切なものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。

解答番号は 20。

資料10 A区における保育施設の分布(2016年)



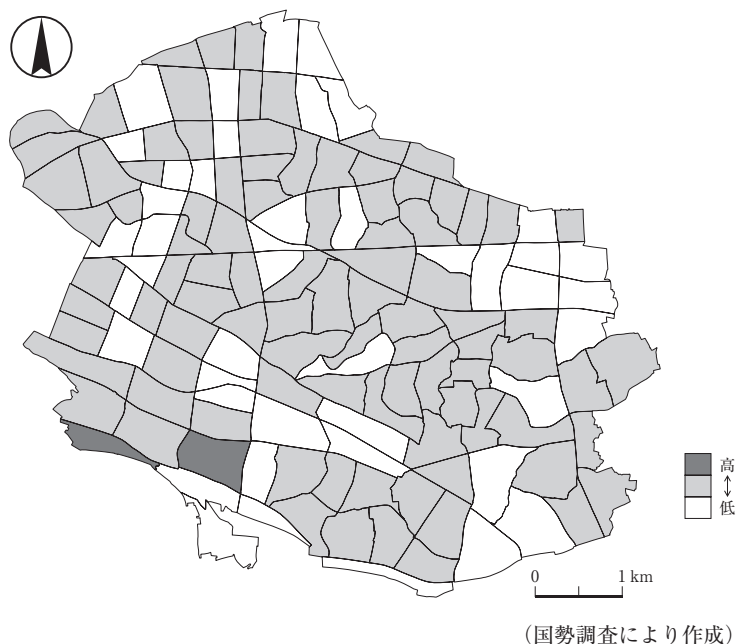
注) 保育施設は、幼稚園や保育所、子ども園などを指す。

資料11 A区における地区別の2010年～2015年にかけての0～4歳児の増減



(国勢調査などにより作成)

資料12 A区における地区別の高齢者の割合(2015年)



ヨシヒコさんたちの意見

<p>①ヨシヒコさん</p> <p>この地点は、駅から近いので電車を利用している人にとって利便性が高そうだが、すでに多くの保育施設が密集し、保育施設を建設する場所の確保が難しそうだね。</p>
<p>②コウジさん</p> <p>この地点は、近くに保育施設は少ないが、高齢者の割合が高い地区にあり、1階を高齢者向けの施設、2階を保育所にして利用したらよいのではないのでしょうか。</p>
<p>③リエさん</p> <p>この地点は、近くに保育施設が少なく、0～4歳児の数は2010年からの5年間で大きく増加しているので、保育施設の新たな設置が必要ではないのでしょうか。</p>
<p>④エミさん</p> <p>この地点は、付近に0～4歳児の数が減少している地区があり、新たな保育施設数の建設は、他の場所を検討してもよいかもしれません。</p>

